



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
- ◆会 長 / 橋詰 希望 ◆副 会 長 / 前田 博志
- ◆幹 事 / 黒澤 明男 ◆ガブ広報・情報委員長 / 新井 粒太



2018~2019 年度
国際ロータリーのテーマ

NO. 1453 平成31年4月9日

◆点鐘	橋詰 希望 会長
◆SAA	小林 秋生 委員
◆ソング	奉仕の理想

【会長挨拶】 橋詰 希望 会長

先週のロータリーの友を知るといふ、駒ヶ根RCの滝沢様のお話を受け、久しぶりにロータリーの友をゆっくり読んでみました。世界の中でベストセラーと言われてはいますがやはり読んでみるといろいろなことを知ることができます。

日曜日に新役員の研修会、地区協議会が松本で行われました。前田会長はじめ次期役員の方が参加していただきました。1 日中お疲れ様でした。

私ごとですが、1 年前の今日が会社時代の友人の命日です。年は私と同じでしたのでまだ若いといえば若くして亡くなりました。肺がんでした。東京近辺にいる仲間からご仏前の集め、ご自宅に伺ってお参りをしてきました。そして奥様を招待し、名古屋時代の社内結婚の 2 夫婦も交えて松本的美ヶ原温泉で一泊してきました。当時の写真を持ってきて、エピソードや失敗談に話が弾み、良い供養ができました。

話の中でそれぞれ子供たちも独立し、自分たちも生まれ育った故郷を離れ、お墓をどうするか実家な処分はどうするかとかいよいよ終活に入ってきたことを実感しました。仲間の中で何人かが亡くなり、病気治療中の人や、奥様が病気の友人もいてまだ健康でいられることに感謝する機会にもなりました。

そんな影響か、名古屋時代の寮の仲間の集まりや、同期入社の子の集まりが今年は控えていて忙しくなります。皆会えるうちに会っておこうという言葉が合言葉です。家内のそのことを言いますとあなたはいつもやりたいことをやっているのでもいつ死んでもいいねと言われ、なぜか納得してしまう自分です。

【幹事報告】 黒澤 明男 幹事

1. 東信第一グループ小池平一郎ガバナー補佐より
「とわいえ」

2. 例会変更

佐久RC	5月2日(木)	定刻受付なし
丸子RC	5月23日(木)	定刻受付あり
	5月30日(木)	定刻受付なし

3. 週報

東御RC

・例会終了後理事会

《本日の配布物》

週報 1452 号、ガバナー月信 4 月号

◆出席報告 前田 博志 委員

会員数 21名	出席義務者 21名	免除者 0名
本日	出席 15名	
	事前 MU 3名	71.43%
前々回(3/26)	MU 2名	80.95%

◆ラッキー賞

NO. 7 中河 邦忠 君

◆ニコBOX 小林 秋生 委員

前田 博志君	4月7日地区研修ありがとう。
小林秋生君	サッカーチームアルティスタ浅間、開幕戦 3-0 で上田ジュンジャン、東信ダービー戦を勝利でスタート致しました。ありがとうございました。
黒澤 明男君	
中河 邦忠君	ラッキー賞、ありがとうございます。
渡辺 頼雄君	地区協議会、出席できずすみませんでした。

【本日のプログラム】 『地区研修・協議会報告』



「会長部会」 前田 博志 会長エレクト

2600地区増強委員の小池先生を筆頭に、全ての部会を網羅する10名で松本大学に行つて来ました。

全体会議は、古川ガバナーエレクトの、「ロータリーは素晴らしい団体です。

ロータリーは素晴らしい人たちの集まりです」というメッセージから始まりました。2時間の全

地区出席が初めての方もいらっしゃったので、各自質問されると戸惑ったり、逆に勉強にもなったのではないかと思います。

終了後、駅前の「横綱」で、懇親会をしました。終わって、8時、望月さんに送って頂いたのですが、「職業奉仕部会」に出席した望月さんが、「企業奉仕」という話題を話し合い、とても為になったと聞き、次期会長として、とても嬉しかったです。

10名の方々、本当にご苦労様でした。



「幹事部会」 黒澤 明男 次期幹事

4月7日いつもの通りのミレニアム観光バスで小諸RCと当クラブ各々10名ずつ合計20名で松本大学へ出発しました。第一回本会議は古川ガバナーエレクトの「ロータリーの魅力を広げよう」とする地区方針の発表がメインテーマでした。午後は、会長幹事合同部会参加、青少年育成基金規約の変更と地区資金予算(案)が上程され満場一致承認されました。

その後幹事部会が開催され幹事の役割と責務を中心に諸問題を学習、3度目の幹事として気持を新たに本日学んだことを生かし前田年度を活性化すよう努めていきたいと思ひます。

一日の研修が無事に終了し、小諸に帰り本日の会議内容を討論しながらの慰労の席を設け前田会長エレクトの御芳志でなごやかな食事会を行いました。参加されました各委員長さん大変御苦労様でした。次期地区会員増強委員会小池委員と私を除く2人のK会員そしてM会員の卓越したアナウンスとパフォーマンスに圧倒されましたことを申し添え報告とします。



「会員増強部会」 加藤 輝男 次期会員増強委員長

次期会員増強部会に出席して強く印象に残った事を簡単にお話したいと思います。

1. どのクラブでもなかなか会員の入会が少ないのが今の現状です。
2. 色々な方法とか会員の種類も考えて行きたい。その中で新たな会員例として法人会員(地元企業に勤める人のため)、準会員(入会に関心のある人、準会員としてお試し体験をし、入会

の意思が固まってから正式に入会させる) 家族会員(会員の家族が会員となる)、ジュニア会員(若い職業人)

3. 一つの新しいやり方として衛星クラブを作って見てはどうか。衛星クラブとはロータリークラブの会員を増やすための手段の一つとして正規のロータリークラブ設立に必要な最低20名の創立会員がいなくても衛星クラブを通じてロータリアンとなる機会が与えられます。又衛星クラブ設立時に少なくとも8名の会員を有している必要があり会員数の上限はありません。衛星クラブは別個の理事会を作り会長と呼ばず議長と呼ぶようにします。

最後に会員増強委員会、カウンセラーの言葉に身にしみました。

「行動なくして会員増強なし」



「公共イメージ向上部会」 新藤 修一 次期クラブ広報・情報委員長

1. 委員会の目的・目標

ロータリークラブを大勢の方に認知してもらうため、ロータリークラブの活動を「見える」ようにする。

2. 次年度の計画・重点事業

① 公共性のある施設(金融機関)にロータリーの冊子を置いてもらう。長野銀行小諸支店で対応します。

② ロータリーのポスターを会員企業に掲示してもらう。

各クラブ事務局に会員配布用ポスターが送付されてくるので、掲示をお願いします。

③ ロータリーデーの実施予定を把握し、リストを作成することでガバナー月信に協力する。

ロータリーデーの報告をします。

小諸浅間ロータリークラブの活動として、飯綱山公園の整備活動、小諸八幡宮の八朔相撲の土俵作りのお手伝い、化粧回しの贈呈を発表しました。他クラブではボーイスカウト、ガールスカウト等の助成先と連携した活動が比較的多かったため、今後の課題としたいと思います。

3. 連絡事項

イベント等でロータリー活動の「見える化」のため、バナー及びポスター(9枚セット)を借りることができます。地区事務所に依頼して下さい。

「社会奉仕部会」 朝倉 俊次 次期奉仕プロジェクト委員長

浅間山麓・南斜面に広がる高原の城下町小諸 その市内西部に飯綱山があります。動物愛護センター「ハローアニマル」や、「高原美術館」などが設置された公園でもありまして、訪れる人たちの心和ます憩いの場となっています。当小諸浅間ロータリークラブは、年数回、清掃奉仕活動をしております。急な斜面で背丈ほどに伸びた草を刈ります。清掃後、市内を見下ろす場所にて喉を潤しながら汗をぬぐい、とても爽やかな気持ちになれます。また、小諸には300年続く「八朔相撲」が市内の八幡宮で行われておりまして、土俵作りのお手伝いや大会開催の協力等もしています。小諸市出身の洋画家「小山敬三」氏の作品『紅浅間』を描いた化粧まわしの贈呈なども行い、関係者の皆様から大変感謝されております。

「青少年奉仕部会」 鴨下直哉 次期クラブ運営委員長

青少年交換委員会

・委員会の目的・目標

長期・短期青少年交換事業の実施及びそれに伴う事業を行う。

受入学生の研修と受入クラブの支援、派遣候補生の研修を行う。

・今年度の計画・重点事業

(1)2019 - 2020 年度 長期 受入派遣 3 名(イタリア、フランス、ハンガリー)

(2)2019 - 2020 年度短期 受入派遣 4 名程度 (3)2020 - 2021 年度長期・短期派遣学生の募集

(4)受入クラブの支援 (5)受入学生、派遣候補生の研修 (6)インターアクト委員会との連携

(7)危機管理計画の策定 (8)ROTEX の役割の確立

ローターアクト委員会

18 歳から 30 歳の青少年男女が奉仕と個々の能力の開発と共に知識・技能を高めると共に各地域で奉仕活動をする事を目的とし、将来、社会に於いて活動で能力を十分に活用指導者を育成する目標とする

ライラ委員会

「やる気スイッチを押すとき」 ~誰だって原石、誰だって宝石になる~

インターアクト委員会

12 歳から 18 歳の地域の学生とロータリークラブを繋ぐ重要なプログラムです。青少年の段階でロータリーが実践している「奉仕活動をすることによって倫理観を向上させ、高潔に生きる」の精神を培って将来へと役立ててもらい、リーダーシップ能 12 歳から 18 歳の地域の学生とロータリークラブを繋ぐ重要なプログラムです。青少年の段階でロータリーが実

践している「奉仕活動をすることによって倫理観を向上させ、高潔に生きる」の精神を培って将来へと役立ててもらい、リーダーシップ能力を伸ばせるように支援します。

インターアクトクラブが他のインターアクトクラブとの合同例会や合同奉仕活動を通じて交流が出来るようにし、より良い奉仕活動を活発に行うことを推奨します。

「ロータリー財団部会」 矢島 栄一 次期ロータリー財団・米山記念奨学会委員長

ロータリー財団部会に出席した内容についてご報告いたします。

まずは次年度のロータリー財団委員会の目標と計画についてですが、

1. 寄付目標

- ① 年次基金への寄付 1人平均 150ドル以上 ② ポリオ・プラス基金への寄付 1人平均 300ドル以上
③ R 平和センターへの寄付 1人平均 500円以上 ④ 恒久基金への寄付 1人平均 1000ドル以上(任意)

2. 年次基金寄付の0クラブを0にする

クラブ0は当たり前のことで、寄付額0のロータリアン0を目指す

3. ロータリー財団にたいする理解を深める

ロータリー財団担当例会を下記の内容を中心に開催してもらう

- 1) ロータリー財団の補助金について 2) ポリオ・プラスについて 3) ロータリー財団の資金の仕組みについて
4) 資金管理と参加資格について 5) ロータリー平和フェローについて 6) 寄付の認証の種類について

4. 地区補助金管理セミナーへの出席要請

会長エレクト、次期ロータリー財団委員長、クラブ事務局 etc.

5. 地区補助金の申請

6. ロータリーカードの加入を推奨する

7. 地区ロータリー財団奨学生を推薦する などとなっています。

いずれにしても、ロータリー財団への寄付金はその全額が、ロータリアンがロータリー活動を行うために使われるものであり、他の活動団体に寄付したり支援したりするために使われるわけではありません。

そういったことを十分にご認識戴いて、毎年寄付のお願いばかりで恐縮ではありますが、目標達成のためぜひともご協力をお願いします。

「米山記念奨学会部会」 両川 博之 次期出席・プログラム委員長

2019年4月7日、松本市松本大学524講義室におきまして、奨学部会に参加してきました。プログラムに沿って報告します。

まず、最初に次期地区副幹事 吉野公尊氏より米山記念奨学委員会の組織・役員・委員の紹介がありました。次に米山奨学生の卓話として、2012年卒業生で現在信州大学学術研究産業関連増進機構研究員勤務の李素ジョン(イ ソジョン)さんのお話が20分位ありました。その後、町田清委員長によりDVDとパワーポイントを使い「世界に届け 米山の架け橋」と事業概要説明がありました。

次にカウンセラーの島田甲子雄氏、副委員長の新井健治氏により米山奨学制度がこれまでの果たしてきた価値、これから果たすべき価値についてよく理解してもらい、寄附の増進に「つなげたい。また、ロータリアンと奨学生との、直の交流を通じて相互の関係の深化発展を図りたいとの話があり、本年度は委員会を行事ごとに開催して、米山の価値を再認識し米山の課題を第2600地区全体で共有するとの事でした。

また、カウンセラー制度と世話クラブについては、奨学生とカウンセラー、世話クラブの関係加え、奨学生と他クラブ強化を図り、奨学生の就職が決定した後も他クラブ、特に遠方のクラブを訪問する機会を増やしたいとの話でした。

その後、本年度の委員会・事業日程の説明があり、質疑応答の後閉会となりました。

次週のプログラム:4月16日 「会員増強について」 会員増強委員会

次々週のプログラム:4月23日 映画上映 「一陽来復」